

住吉北部あんしんすこやかセンター

令和4年度住吉北部あんしんすこやかセンター事業運営状況について、下記の通り報告します。

1 令和4年度総括

○ 住吉北部の概要

住吉北部（住吉本町・住吉山手・住吉台・渦森台）圏域を担当しており、3月末の高齢者人口が6,468人昨年度より11人減少し、高齢化率については33.7%と変わらず東灘区トップの地域であり、特に住吉台地区や渦森台の一部の地区では高齢化率は40%を超えており、高い傾向は変わりません。

介護予防プラン管理数においては、月平均が372件で昨年度と比べて平均10件程度増加しています。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響がありましたが、予防給付及び総合事業ともに新規利用者が増えています。

センター事業としては、相談対応件数は月平均270件ぐらいですが、昨年度に比べて増加しており、特に介護相談、虐待対応件数がかなり増加しています。ケアマネジメント支援や困難事例の対応については、月平均15件程度の事例があり、昨年と同様となっています。

○ センター事業目標

令和4年度からの長期目標は「個人それぞれが助け合いの意識をもち、お互い声掛けができるような活気のある地域になる」で、短期目標は「住民自らが地域に対して意見を出せるように、話し合いの場を持つ」ことです。

また、それぞれの地域目標は下記の通りです。

（住吉台）

地域全体に活気ができるようなイベント（キッチンカー、フードドライブ）を計画する。開催に向けて話し合いを重ねる中で、住民同士の繋がりが持てるようする。

（住吉本町）

住吉本町のネットワークメンバーを増やし、より広いネットワークを作る。フレイル予防が必要な高齢者を発掘し、集いの場に参加に結び付けるためのアイデアを出す会議を開催する。

（渦森台）

住民同士が繋がりが持てるイベントを企画する。イベント開催に向けての話し合いや経過の中で住民から地域課題を聞き取る。住民主体のゴミサポ渦森台の活動を継続させる。利用者やサポーターを増やすための広報啓発を一緒に考えていく。

（住吉山手）

丁ごとに地域の情報を分析していき、課題を見つけていく。住民からの情報を聞き出し、地域にあった広報啓発を住民と一緒に考えていく。

実施結果は以下の通りです。

（住吉台）

住吉台では昨年に引き続き、「住吉台にキッチンカーを呼ぼう」のイベント開催のために地域ケア会議を開催し、10月11月にキッチンカーを呼び、野菜販売ができる事業者も協力してい

ただき、イベントを開催することができました。

(住吉本町)

フレイルの啓発というテーマで住吉本町内にある薬局や介護サービス事業所関係者と地域ケア会議を開催、11月に介護の日としてフレイル予防のイベントを開催し、広報啓発に努めました。

(渦森台)

渦森台2丁目に住む住民の皆さまにアンケートに協力していただき、地域ケア会議を開催し、住民の皆さまが主体的にゆるやかな見守りをしていただけるように広報啓発をすることができました。

(住吉山手)

住吉山手地区は地区によって特徴があり、地区を超えて住民同士のつながりの場を作ることは難しい状況ですが、待合おしゃべり会を定期的で開催できるように後方支援をし、住民同士のつながりが持てるようにしました。

○ 神戸市による運営評価について

令和4年5月にありましたが、令和3年度の運営評価については特に課題はありませんでした。

主な事業実績については、以下の通りです。

2 年度利用状況について

(1) 介護予防支援事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防給付	220	224	233	225	224	219	225	228	222	233	236	236	2,725
総合事業	138	136	138	141	148	151	165	159	155	148	131	133	1,743
合計	358	360	371	366	372	370	390	387	377	381	367	369	4,468
新規数	10	9	10	16	12	5	9	8	8	8	5	10	110
前年比%	95.4	96.5	98.1	99.7	100.8	98.4	106.5	108.4	106.7	111.7	104.2	102.7	100.5

(2) 相談対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談	151	183	142	180	134	162	170	135	149	131	191	169	1,897
介護予防	22	27	41	26	45	46	44	25	38	26	19	50	409
権利擁護	9	9	16	9	18	12	6	4	8	6	18	15	130
ケアマネ ジメント 支援	13	5	11	17	14	22	14	13	7	21	30	15	182
地域 支えあい	18	15	18	16	22	20	20	21	44	11	13	23	241
認定申請	33	43	28	31	35	40	37	40	29	38	63	45	462

その他	2	3	9	9	6	5	10	9	18	11	20	20	122
合計	248	285	265	288	274	307	301	247	293	244	354	337	3,443
前年比%	84.6	100.7	99.2	109.5	99.2	102.3	103.4	108.3	139.5	99.5	147.5	95.7	106.0

(3) 地域ケア会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	1	5
参加人数	0	0	0	0	33	19	0	17	0	0	0	12	47

(4) 広報啓発の内介護予防普及啓発に関すること

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	9	100	15	88	9	16	13	88	4	7	13	21	383
参加人数	173	100	98	88	44	1,717	1,367	88	4	211	270	900	5,060

(5) 介護リフレッシュ教室

	1	2	3	4	5	6	合計
開催日	6/28	9/1	10/27	12/14	3/6		5
参加人数	6	5	5	6	5		27

3 職員体制

主任ケアマネジャー	2名（1名は兼務）
社会福祉士	2名
保健師	1名
看護師	1名（兼務）
地域支え合い推進員	2名
介護予防支援担当ケアマネジャー	2名
事務員	1名

看護師が法人職員兼務でセンター職員となり、事務員（パート職）を10月に採用
社会福祉士1名（パート職 12月末で退職し、2月に採用）

4 令和4年度事業実施状況について

(1) 職員研修の実施について(職員資質向上)

センター内では、職員資質の向上と情報共有を目的に、月1回センターミーティング・ケース検討会議で困難事例を検討しました。また、センターや行政主催で会議や研修、法人内及び法人外研修には31回延べ52名の職員が参加しました。主な内容は以下の通りです。

1) 神戸市・東灘区及びあんしんすこやかセンターが主催する主な研修

日時	会議内容	出務職員
6/30	令和4年度 高齢者虐待対応にかかる研修会（初任者向）	本房
7/7	令和4年度 高齢者虐待対応にかかる研修会（初任者向）	白井
7/8	神戸市介護予防フレイル予防対応研修	本房
8/24	令和4年度 あんしんすこやかセンター職員テーマ別研修	荷本

	「地域マネジメント」	
9/12	東灘区高齢者虐待防止研修会「高齢者虐待とその対応について」～介護者（ケアラー）の立場に立った支援を考える	石塚
9/29	令和4年度 あんしんすこやかセンター職員研修 「地域診断」	荷本
11/14	「8050」世帯が危機に陥る前にできること	本房
1/27	令和4年度神戸市認知症地域推進員研修	本房
2/21	東灘区障害者支援の研修 障害者福祉を理解しよう	吉岡
3/13	令和4年度 あんしんすこやかセンター職員テーマ別研修 「地域マネジメント」全市発表会	荷本
3/15	令和5年3月介護予防ケアマネジメント従事者新任者研修	桃田

2) 神戸市・東灘区及びあんしんすこやかセンター以外が主催する主な研修

①法人内研修 全職員 高齢者虐待防止及び個人情報保護研修、ハラスメント研修等

②法人外の主な研修

日 時	研 修 内 容	出務職員
7/12	神戸市におけるこども若者ケアラー支援について学ぶ	伊賀、吉岡
7/26	困難事例対応力向上研修①	石塚
8/23	困難事例対応力向上研修②	石塚
8/29	医療介護連携を学ぶ研修会	伊賀、吉岡
8/29	くらしと財産を守る「成年後見」セミナー	白井
9/14	8050問題～ひきこもり本人・家族の目線から～	本房
10/5	成年後見制度について「基礎編」	石塚
10/3	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会	伊賀
9/28, 10/11	生活支援コーディネーター基礎セミナー	荷本
10/13	困難事例対応力向上研修会③	石塚
11/11	地域ボランティア養成講座合同発表会	伊賀
11/14	口腔ケア研修	吉岡
12/7	相談支援のための家族理解 ～その視点を実践に繋げるために～	本房
1/18	神戸市における地域支え合い活動と社会資源について	伊賀 吉岡
2/2	金銭管理問題研修	伊賀
2/4	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修会	本房
3/2	成年後見制度勉強会	石塚、桃田

(2) センター業務については以下の通り

1) 介護保険要介護・要支援認定申請代行

462 件の申請代行業務を実施しました。昨年度より 20 件ほど増加しています。

2) 総合相談支援業務

総合相談支援事業は、地域の高齢者が、住みなれた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行いました。実績は下記の通りですが、昨年度と比べて、介護相談及び介護保険外サービスの件数が大幅に増加しています。

介護相談 1,406 件 入所・退所相談 60 件 認知症に関する相談 255 件 実態把握 76 件
介護保険外サービス 86 件 基本チェックリスト 14 件

3) 権利擁護業務

権利擁護事業は、地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から等の支援を行いました。実績は下記の通りですが、昨年度より高齢者虐待件数が 3 倍に増加、措置の件数も 1 件から 4 件と大幅に増加し、高齢者虐待対応の終結は施設入所等で分離を図るケースが多くなっています。

高齢者虐待 93 件 成年後見制度 30 件 措置 4 件 消費者被害 3 件

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業は、地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員に対する後方支援や関係機関とのネットワーク構築による会議を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント支援 90 件

住吉北部・御影北部圏域内介護支援専門員情報交換会及び事業所連絡会の開催

5) 困難事例対応

認知症や虐待等の困難事例に関して、ケアマネジャー等の担当者と随時カンファレンスを実施し、情報の共有を図り、適切に対応しました。複数の機関で対応する事例が増えていることがあります。

92 件

6) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

生活上さまざまな課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行なうことにより、フレイル予防を促すこと等、高齢者の自立した生活の支援を行いました。昨年度と少し増加しています。

409 件

7) 地域見守り活動推進事業

高齢者が地域で安心して生活ができるよう、あんしんすこやかセンターの専門職とチームアプローチを図りつつ、地域住民間による見守りができるコミュニティづくりを支援するとともに、介護予防の推進を図りました。新型コロナの影響がありましたが、可能な限り集まり様々なつどいの場に参加し後方支援に努めました。

○ 主な会議とコミュニティサポート支援事業等

・住吉中部及び住吉北部地域支え合い連絡会の開催

- ・わはは倶楽部 ふらっと住良本町 街会いおしゃべり会 住吉台椅子ヨガ教室等に参加
- 相談対応件数 241 件
- 住民主体活動の後方支援 117 件

8) 広報・啓発

新型コロナの影響があり上半期は地域行事が中止になる等でほとんどの行事に参加することができませんでしたが、下半期は地域活動が再開され、個別の地域住民の方々や民生児童委員、関係機関等に配布する等、昨年度と大幅に多くの広報啓発を実施しました。

広報対象人数 5,060 人

9) 包括的地域ネットワーク業務

新型コロナの影響がありましたが、東灘区やセンターが主催する研修やネットワーク会議また、地域が主催する会議も可能な限り対面で開催され、できる限り情報交換を図りました。さらに地域ケア会議も5回開催し、関係機関との連携に努めました。

センター主催の会議	会議数	19回	参加人数	87人
行政等が主催の会議	会議数	76回	参加職員数	127人
地域主催の会議	会議数	181回	参加職員数	333人

10) 介護予防普及啓発事業

高齢者及び介護保険事業者に対して介護予防に資する普及啓発を図ることを目的とする事業であります。住民主体の紫陽花くらぶや街会いおしゃべり会等を月1回開催。また神戸老人ホーム主催のわくわくウオークラリーも開催しました。また、神戸老人ホームや東神戸病院、地域福祉会あす、認知症予防ネット神戸が中心となり、つどいの場づくりとして、ふらっと住良本町を週1回（内月1回神戸老人ホームが担当）継続させています。

11) 地域ケア会議の開催

地域ケア会議は地域包括ケアシステム（誰にでもやがて訪れる高齢期を安心して迎えるための地域づくり）を構築し、暮らしを豊かにするための話し合いの場であり、住吉本町地区で1回 渦森台地区で1回、住吉台地区で2回開催。また個別課題に関する会議を1回開催しました。

12) 認知症地域支援推進事業

認知症の人の意見が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、①地域の实情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割や②地域における認知症の人と家族への支援体制の構築を図りました。特に、認知症神戸モデルの推進や複数のケースで認知症初期集中支援チームのオレンジチームと連携し、認知症早期発見や医療につながる支援をしました。

13) 医療と介護の連携

個別の事例検討会やサービス担当者会議等に医師会・歯科医師会・薬剤師会・病院等医療関係者も参加され、利用者及び地域課題についての情報交換をしました。また、医療介護サポートセンターの研修や会議に参加して情報共有を図りました。

14) 介護者支援

介護家族に対する身体的精神的負担の軽減・自助グループ育成を支援する目的に介護リフレッシュ教室については、5回開催することができました。しかし参加人数は5.6、名程度で

少人数が続いているので、新しい試みも必要な状況です。

15) 法人における地域貢献会議

法人における地域貢献として、新型コロナの影響により、昨年に引き続き日曜ふれあい喫茶が開催できなくなったため、マーケティング会議にて、スタンプラリーである「わくわくウォークラリー」を2回企画しました。また他法人と協力し、ふらっと住良本町を継続させ、つどいの場づくりに参画しました。

(3) 個人情報の保護と取り扱いについて

神戸市の運営基準に基づき、個人情報の保護に取り組みました。

(4) 神戸市への改善報告

書類を期限までに提出することを報告しました。

(5) センターへの苦情

今年度はなし。

5 会議等

1 【職員会議】

月1回開催し、月間予定の確認及び事業報告及び事業計画の進捗状況及び職種別の情報交換を行いました。

2 【センターミーティング・ケース検討会議】

月1回開催し、新規相談ケースや虐待等支援困難事例、ネットワーク支援の在り方について検討を行いました。

3 法人内の会議

【定例会議 安全管理対策委員会 今年度より法人企画部マーケティング会議】に参加しました。

6 資金収支

別紙令和4年度決算書の通りです。

7 その他 特になし。